

令和4年度第1回ちよだアートスクエア評議委員会 議事要旨

1. 日時 令和4年8月22日（月）14時00分～14時50分
2. 場所 千代田区役所8階 第3・4委員会室
3. 内容 ちよだアートスクエア令和3年度事業実施報告

出席者 10名（敬省略）

【委員】椿昇（委員長・学識経験者）、長田哲征（副委員長・学識経験者）、
岡田勉（学識経験者）、小林俊司、新井美智子、恩田浩行（区）
（欠席：服部浩美、久保田富三郎）

【合同会社コマンドA】中村政人、佐々木浩一、穴戸遊美、木村博行

はじめに、ちよだアートスクエア運営事業者である合同会社コマンドAより、令和3年度事業実施報告を行った。その後、委員より意見や質疑が行われた。

合同会社コマンドAからの実施報告は以下のとおり。

（アーツ千代田 3331 令和3年度事業実施報告資料）

- ・新型コロナウイルス感染による影響
- ・令和3年度事業実施と来場者一覧
- ・特別企画展（疫病・たいさ～ん！江戸の人々は病いとうき合ったか）
- ・こども芸術学校
- ・3331 ART FAIR 2021
- ・3331 ART FAIR 2021 特別企画展 NFT とアートのこれから
- ・オルタナティブ！小池一子展 アートとデザインのやわらかな運動
- ・東京藝術大学油画学部3年進級展示
- ・東京ビエンナーレ 2020/2021
- ・ポコラート世界展
- ・かえっこバザール
- ・明後日朝顔プロジェクト in 千代田
- ・スペースレンタル事業
- ・地域連携プログラム
- ・プレス
- ・メインギャラリーの展示について
- ・スポーツレンタル事業について

評議委員会委員より出された意見は以下のとおり。

- ・コロナで大変な中、これだけ多くの企画を連続して実施しているのは、心からすごいと思う。特に NFT などの取り組みは素晴らしい。
- ・非常に広い分野で活動されて敬意を評す。山王祭りなど、地域の人あまり集まらないイベントであるが、そのような中でアーツ千代田 3331 の活動は気を吐いていると思う。
- ・令和3年度は「ポコラート世界展」が最大のイベントだと思う。
- ・アーツ千代田 3331 と一体になっている練成公園の植栽により、来館者が潤っているような気がした。

- ・コロナ禍においても、コミュニケーションや交流について、プログラムをとおして続けたという社会的意義は、美術や地域連携と全く別のベクトルで社会にとって重要な役割を果たしたと思う。
- ・アーツ千代田 3331 は、民主主義の問題としてアートを考え、どのような機能を持つのか実証してきたと思う。

質疑応答は以下のとおり。

- ・コロナ禍となり3年が経ち、表現する人の心もシフトしてきた実感があると思うが、実際どう感じているのか。令和4年度の動きを含め教えて欲しい。
 - コロナ禍でどのように文化事業を実現できるのかというより、コロナ禍だからこそできるのではないかという考えに変化した。集客に関しても、ただ人を集めるのではなく、どのようなコミュニケーションをするかという議論に動いている。

以上